



2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月7日

上場会社名 株式会社グリーンズ 上場取引所 東 名
 コード番号 6547 URL https://www.kk-greens.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村木 雄哉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 浩也 TEL 059(351)5593
 四半期報告書提出予定日 2019年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績（2018年7月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	23,057	14.7	1,852	26.5	1,844	29.3	1,204	28.8
2018年6月期第3四半期	20,107	2.8	1,464	△17.1	1,426	△14.0	935	△19.3

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 1,203百万円 (27.3%) 2018年6月期第3四半期 945百万円 (△19.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	93.64	—
2018年6月期第3四半期	73.90	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	18,766	10,340	55.1
2018年6月期	17,132	9,339	54.5

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 10,340百万円 2018年6月期 9,339百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2019年6月期	—	0.00	—		
2019年6月期（予想）				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	31,026	14.3	2,273	19.1	2,258	21.1	1,507	117.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期3Q	12,886,200株	2018年6月期	12,847,500株
② 期末自己株式数	2019年6月期3Q	4,342株	2018年6月期	42株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期3Q	12,866,730株	2018年6月期3Q	12,659,985株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年7月1日から2019年3月31日まで)における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が継続し、回復基調が穏やかに継続しました。ただし、米中関係をはじめとする通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響については引き続き留意する必要があります。

ホテル業界におきましては、2019年3月29日に観光庁が公表している最新の宿泊旅行統計調査(2019年2月第1次速報)によりますと、当社グループの主要事業であるビジネスホテルの客室稼働率は、76.2%で前年同月比0.8%の増加となり、高水準での稼働が続いております。また、国内全体の延べ宿泊者数は4,013万人泊で前年同月比9.1%増加し、その内訳として日本人宿泊者が3,107万人泊(前年同月比4.2%増)、外国人宿泊者905万人泊(前年同月比30.1%増)となり依然として好調に推移しております。あわせて、2019年3月19日に日本政府観光局が発表した資料によりますと、訪日外客数(2019年2月推計値)は、2月としては過去最高の前年同月比3.8%増の260万4千人となりました。

このような経済状況の下で、当社グループにおいて宿泊特化型のビジネスホテルを展開するチョイスホテルズ事業では、第1四半期において自然災害によるキャンセル等の影響があったものの、第2四半期、当第3四半期においても東北・東海・中部地区では引き続き好調な製造業やイベント宿泊需要の取り込みによって好調を維持し、九州ではインバウンドを中心とした観光需要が堅調で客室単価を伸ばさせることができました。一方で東京、大阪などの都心部マーケットでの新規競合ホテル出店・客室供給量の増加は続いており、日々の宿泊需要予測に基づく柔軟な販売施策の実行、販路拡大等の施策を実行しております。昨年9月末から10月初旬にかけて、当事業の新たな取り組みであるComfort Library Cafeを設置し開業したコンフォートホテル宮崎(宮崎県宮崎市)、コンフォートホテル神戸三宮(兵庫県神戸市中央区)、コンフォートホテル高知(高知県高知市)の3店舗も当第3四半期連結累計期間の売上高に貢献しました。この他にも、本年3月に「ベストイン甲府」(山梨県甲府市)をコンフォートブランドである「コンフォートイン甲府」にリブランド開業いたしました。この結果、当事業の売上高は前年同期比19.1%増の17,304百万円と好調に推移しました。

一方、地域特性に合わせて宴会場等を併設したシティホテルを中心に展開するグリーンズホテルズ事業では、三重県内における大型商業施設建設や製造業の工事等、ビジネス需要は一旦落ち着きを見せており、柔軟な販売施策の実行、販路拡大等の施策を実行しております。また昨年12月にリブランド開業した「ホテルエスプル広島平和公園」(広島県広島市中区)が売上増加に貢献し、当事業の売上高は前年同期比3.3%増の5,611百万円と推移しました。

なお、当第3四半期連結会計期間における新規出店はなかったため、当第3四半期末時点でのホテル軒数は95店舗、客室数はチョイスホテルズ事業10,116室、グリーンズホテルズ事業3,294室の合計13,410室となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高23,057百万円(前年同期比14.7%増)、営業利益1,852百万円(前年同期比26.5%増)、経常利益1,844百万円(前年同期比29.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,204百万円(前年同期比28.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、18,766百万円(前連結会計年度末17,132百万円)と、1,634百万円増加いたしました。

うち流動資産は、7,913百万円(同7,481百万円)と、432百万円増加いたしました。これは、主に売掛金の増加によるものであります。

固定資産は、10,852百万円(同9,650百万円)と1,201百万円増加いたしました。これは、主に差入保証金の増加、新規出店に伴う建設仮勘定の増加によるものであります。

負債につきましては、8,426百万円(同7,792百万円)と633百万円増加いたしました。

うち流動負債は、4,300百万円(同7,074百万円)と2,774百万円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、4,126百万円(同717百万円)と3,408百万円増加いたしました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

純資産につきましては、10,340百万円(同9,339百万円)と1,000百万円増加いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益によるものであります。この結果、自己資本比率は55.1%(前連結会計年度末比0.5ポイント増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の予想につきましては、前回発表の通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,364,311	5,322,366
売掛金	1,154,163	1,489,142
原材料及び貯蔵品	99,189	97,884
その他	864,715	1,004,893
貸倒引当金	△577	△290
流動資産合計	7,481,803	7,913,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,312,358	1,244,601
工具、器具及び備品(純額)	402,885	405,681
土地	2,225,918	2,225,918
リース資産(純額)	100,493	126,784
その他	—	977,760
有形固定資産合計	4,041,656	4,980,746
無形固定資産		
投資その他の資産	358,326	336,818
投資その他の資産		
投資有価証券	57,801	52,455
長期貸付金	53,633	47,270
差入保証金	4,887,821	5,190,314
その他	309,372	302,966
貸倒引当金	△58,000	△58,000
投資その他の資産合計	5,250,627	5,535,006
固定資産合計	9,650,610	10,852,570
資産合計	17,132,413	18,766,567

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,002,792	1,044,280
短期借入金	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	3,771,161	793,604
未払金	698,522	767,101
未払費用	631,040	609,179
未払法人税等	433,673	304,523
未払消費税等	131,469	158,911
賞与引当金	—	177,152
その他	286,186	325,553
流動負債合計	7,074,845	4,300,306
固定負債		
長期借入金	112,500	3,485,056
資産除去債務	433,344	453,883
その他	171,863	187,211
固定負債合計	717,708	4,126,150
負債合計	7,792,553	8,426,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,921,032	1,948,025
資本剰余金	1,921,032	1,948,025
利益剰余金	5,498,382	6,446,283
自己株式	△67	△67
株主資本合計	9,340,379	10,342,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,458	△2,156
繰延ヘッジ損益	△3,978	—
その他の包括利益累計額合計	△520	△2,156
純資産合計	9,339,859	10,340,110
負債純資産合計	17,132,413	18,766,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
売上高	20,107,840	23,057,993
売上原価	15,048,243	17,149,756
売上総利益	5,059,596	5,908,237
販売費及び一般管理費	3,595,383	4,055,478
営業利益	1,464,213	1,852,758
営業外収益		
受取利息	952	831
その他	23,484	28,815
営業外収益合計	24,436	29,646
営業外費用		
支払利息	38,503	28,472
一部指定関連費用	12,500	—
その他	11,216	9,134
営業外費用合計	62,219	37,606
経常利益	1,426,430	1,844,799
特別利益		
固定資産売却益	239,808	—
特別利益合計	239,808	—
特別損失		
固定資産除却損	2,206	18,509
減損損失	185,149	9,793
特別損失合計	187,355	28,303
税金等調整前四半期純利益	1,478,882	1,816,496
法人税等	543,338	611,646
四半期純利益	935,543	1,204,850
親会社株主に帰属する四半期純利益	935,543	1,204,850

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	935,543	1,204,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,735	△5,614
繰延ヘッジ損益	5,967	3,978
その他の包括利益合計	9,702	△1,636
四半期包括利益	945,246	1,203,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	945,246	1,203,213

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注実績

該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績は次のとおりであります。なお、当社グループはホテル事業の単一セグメントであるため、事業部門別に記載しております。

事業部門の名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	前年同期比 (%)
チョイスホテルズ事業 (千円)	17,304,426	119.1
グリーンズホテルズ事業 (千円)	5,611,315	103.3
その他の事業 (千円)	142,251	106.9
合 計 (千円)	23,057,993	114.7

- (注) 1. 事業部門間の取引については相殺消去しております。
 2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当該割合が100分の10以上の相手先がないため、記載を省略しております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。